

線路脇の部材が列車と接触した事象について（JR東西線）

2026年4月25日、JR東西線 尼崎～加島駅間で、運転士が通常と異なる音を認めて停車し、車両及び線路の確認を行いました。お客様にはご迷惑とご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。

1 発生日時

4月25日（土） 18時50分頃

2 発生場所

JR東西線 尼崎～加島駅間

3 列車名

上り快速電車 7両編成

宝塚駅（18時26分）発 同志社前駅（19時48分）行

ご乗車のお客様：約200名

4 概況

18時50分頃、当該電車の運転士が尼崎～加島駅間を走行中、通常と異なる音を認め、停車しました。車両及び線路の確認を行いましたが、当該電車の車両の確認が完了し、運転に支障がないことが確認できたため、19時52分に当該電車のみ運転を再開しました。線路の確認を行っていたため、JR東西線では尼崎～京橋駅間で運転を見合わせましたが、現地の確認が完了し、運転に支障がないことが確認できたため、21時32分に通常速度で運転を再開しました。

※ご乗車のお客様にお怪我はありません。

※19時30分から23時00分まで振替輸送を実施しました。

5 列車影響

<運休>計52本（上り29本、下り23本）

<遅れ>上り快速電車[篠山口（19：44）発 同志社前（21：53）行]が60分遅れたのを最大に、計53本（上り27本、下り26本）に遅れ

<影響人員>約36,000人

6 発生経緯

枕木の間隔を保持する部材が外れ、車両と接触したためです。

部材が外れた原因は調査中です。



【JR東西線 尼崎～加島駅間 下神崎川橋梁上の画像 ※通常時】



【上段の画像の四角囲い部分の拡大（部材は○囲いの部分） ※通常時】